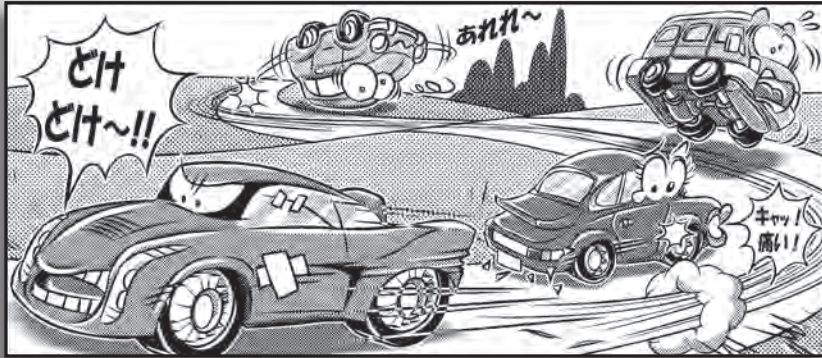


傷だらけの車



このハイスピードな社会では、対人関係でもついスピードが出てしまっただけで、まるで当たり前と考える人もいるかもしれません。でも、ここで少しそのリスクについて考えてみましょう。

車の運転でスピードを出しすぎるなら、事故を起こす可能性が高くなり、その場合、損傷も大きくなります。対人関係も同じで、人と接する時に、いつも急いでおり、スピードを出しすぎているなら、周りの人と接触事故を起こす可能性が高くなってしまいます。

その類の接触事故の怖いところは、多くの場合、その傷が相手にも自分にも見えないので、そのままやり過ごしてしまうことです。接触事故なのに、傷が見えない——いったいどういうことでしょうか？ それは、心の中にできる傷だからです。

家庭でも職場でも、急いでいるとつい言葉がきつくなり、ぶっきらぼうな態度をとってしまいがちです。また、用事のある人に出会うと、今がチャンスとばかりに自分の話したいことだけを話し、相手の意向を伺いもせず、あつという間に立ち去るといようなやり方をし、相手の立場を思いやったり、タイミングを見はからったりするのを怠ってしまうことがあります。相手は面食らい、場合によっては、言われたことをすっかり誤解してしまうかもしれません。説明不足は、とんでもない誤解を引き起こすことがあります。相手を傷つけるつもりなど全くなくとも、あせって性急なコミュニケーションをすることによって、相手に思わぬ傷を負わせてしまい得るのです。

日頃の態度や性急なコミュニケーションによって生じた傷というのは、多くの場合、はっきりした症状が出ないまま、心の中に蓄積されていきます。そしていつのまにか、自分も相手も傷だらけの車を運転しているという結果になるのです。時には、忙しすぎてコミュニケーションをしないこと、つまり「無言」という行動によって相手に傷を負わせることさえあるでしょう。そのまま行くと、多くの人は、スピードを出し続けている人や

忙しすぎる人の周りにいたいとは思わなくなり、予想外の事態を招くこともあります。

たとえば、今まで仲良くやっているとと思っていた相手から、「もう一緒にはやっていけない」と言われたり、同じチームとして頑張ってきたのに、いつの間にか団結や一体感がなくなり、末にはチームが崩れてしまうなど……。悲しいことに、そういうことが頻繁に起こるのが、自分が一番愛している家族との関係であったり、大切な同僚や部下たちとの間なのです。

ハイスピードの生き方は、その時は時間を節約しているように思え、物事をどんどん成し遂げているように感じるかもしれませんが、しかし長い目で見ると、スピードが引き起こす傷や破損によって多くの大切なものを台無しにしてしまうのです。

大きな衝突事故を起こせば、相手との関係に取り返しが付かないひびが入るかもしれませんし、そうでなくても事後処理で結局もっと時間を取られることになるでしょう。また、小さな接触事故が続いていると、いずれは積みも積もって、相手も自分も傷だらけになり、修復不可能になってしまうかもしれません。

だから、それほどスピードを出す価値があるのでしょうか？ 大切なものを失ってしまうことがないよう、そして幸せな人生のために、「人生の安全運転」をお勧めします。